



見出川あれこれ (一)

幼かった頃まだ入ることの出来た見出川と、長い空白期間を経て次に私が見出川と出会ったのは、高齢の父にかわり水利組合(地元の農家集まり)の共同作業に出るようになってからです。私の町は新家町といつて見出川でいえばJRより下流のあたりです。水利組合では年に何度か、自分たちの水路の掃除をします。初めて参加したときにどこにいくのかわかりませんでした。七山にある「榎の元」という堰でした。

そこから曲がりくねった水路に沿って掃除(泥上げ)していきます。驚いたのは途中大きな別の水路の上をコンクリート製の水路が跨いでいるのです。これはきつと最近になって造ったものだと思います。しかしまたまた見た寛政10年(1789)年ごろの鶴原村の古地図には、ちゃんと「榎の元」も水路を跨ぐ水路も載っているのです。私たちの組合の担当の終点の庄田(地図では庄太)池までまったく今と変わっていないのです。今では宅地化が進み随分田畑が減りましたが、私の家の田の一枚が今でも見出川のすぐそばにあります。高低差は20mほどあります。田の横を走る小さな水路の水が、はるか下にある同じ見出川の水とはとても信じられません。今のような測量器もない時代に、見出川の水を毛細血管のようにそれぞれを潤すようにした先人の智慧には驚くばかりです。これは私見ですが、私の住む「新家」は名前のとおり「新」な家になって開かれたムラだと思えます。そしてそれを可能にしたのは見出川の水であったのです。それは今に至るまで続いているのです。私の家で食べる水ナスやスイカ、トウモロコシ、キュウリ等の



水利組合で毎年水路の清掃を実施

野菜はすべて見出川の水の賜物なのです。昔のようには私達のところでは入って遊ぶというよりは出来なくなりましたが今でも見出川沿いの田畑の「母なる川」なのです。ユーン河など世界の大河をカヌーで下った、作家の野田知佑さんは、四季の変化に富み繊細で様々な生き物がいる日本の川が世界で一番美しく下って楽しかった。といっています。もちろん今は野田さんがいうような美しい川はほとんど日本には残っていないでしょうが、どんなに汚され傷つけられても、それでもやはり川は生きていて、私たちの暮らしになくてはならないものだと思えます。川(水)というものにもっと私たちが謙虚であつてもいいのではないのでしょうか。

(泉佐野市環境衛生課長 唐池明彦)



見出川をまたぐ榎本水路

三ツ松の牛神祭り

(雨乞い行事)

雨たんもれ たんもれよ
雨たんもれ たまわれば
雨乞い踊りをなしたもう
雨たんもれ 八大うし

毎年八月七日、三ツ松の牛神祭りがおこなわれます。行事に先立ち八月五日には子供組の登壇、そして牛の模様が赤土を練って作られます。角は十八ささげ、耳はびわの葉、目は柿の実。すごい迫力ですね。(写真)

水間・三ツ松、池・川に水は無し 森・名越・清児は、牛のよだれ程の水しかない 田畑は亀の甲のように干しあがり植えたものは枯れてしまう。トラクターなど無かった時代、働き者の牛への感謝とともに、「雨たんもれ・・」と切ない願いをこめて牛神祭りが行われ、今に至るまで引き継がれているのです。

泉州地域では、今もたくさん
の牛神さまが祭られています
岸和田市中井町「牛神公園」でも、八月に角はナス、耳はビワの葉っぱで作られた牛神様が登場します。自宅の横の神社(泉南市)でも「牛頭天王」と刻された大きな石が祭られています。



三ツ松の牛神まつり

みなさんの身近なところにも、きつと「牛神さん」が地域を見守ってくれていますよ。
協議会では「見出川マップ」を作成しました。盛夏、子供達が歩いて調べたことや貝塚市役所・熊取町役場の方から教えていただいた史実を基にできあがったものです。今でも見出川周辺にはたくさん牛神さまが祭られています。このイラストマップは、「野外活動ふれあい広場」で見ることが出来ます。NPO法人グリーンパーク熊取の皆さんに聞いてください。
(見出川協議会副会長 田中正視)

熊取町環境展

10月23日(日)熊取町煉瓦館でにぎやかに「環境展」が行われました。昨年に引き続き、協議会として、中庭で「見出川ふれあいコーナー」を出展。多くの親子連れの来場がありました。ふれあいコーナーの主役は見出川の生き物たち。捕獲した魚や亀の他、身近に増えている外来種の問題を知ってもらうため、アカミミガメやブラックバスの剥製などを展示したり、ザリガニ釣りやスジエビすくいを体験できるようにしました。特にスジエビすくいが、200枚用意したポイもお昼すぎに無くなるほどの大人気。家の前の水路で、お父さんとスジエビ取りをしているという子供さんが、水辺と触れ合っている様子を楽しそうに話してくれました。

熊取町立東小学校の児童の作品を展示したコーナーでは、ご両親に子供さんが授業で調べた見出川の事を解説しながら一緒に観覧。ロウソク作りコーナーでは、廃天ぶら油から色とりどりのロウソクができ、「家でも作ってみようかな」というお母さんもいました。

流域の皆さんに、水辺の生き物と接することで、見出川に親しんでいただける機会ができたと思います。

(泉州農と緑の総合事務所)



私の水辺大発表会 ～泉南子ども地域交流会～

日時 H24年1月29日(日)
13時～16時
場所 イオンモールりんくう泉南
2階 イオンホール
内容 発表・展示・交流会など
展示は前日も開催します

見出川協議会も参加します。
買い物ついでに是非来て下さい！

見出川上流の清掃活動

日時 H24年3月11日(日)
10時～12時
場所 高田区ちびっこ広場集合

詳しくは熊取町広報でご覧下さい

見出川流域水循環再生協議会

【連絡先】大阪府 泉州農と緑の総合事務所
環境指導課 電話 072-439-3601

